

## 議会基本条例の潮流とその意味

法政大学 土山希美枝 kimiet@hosei.ac.jp

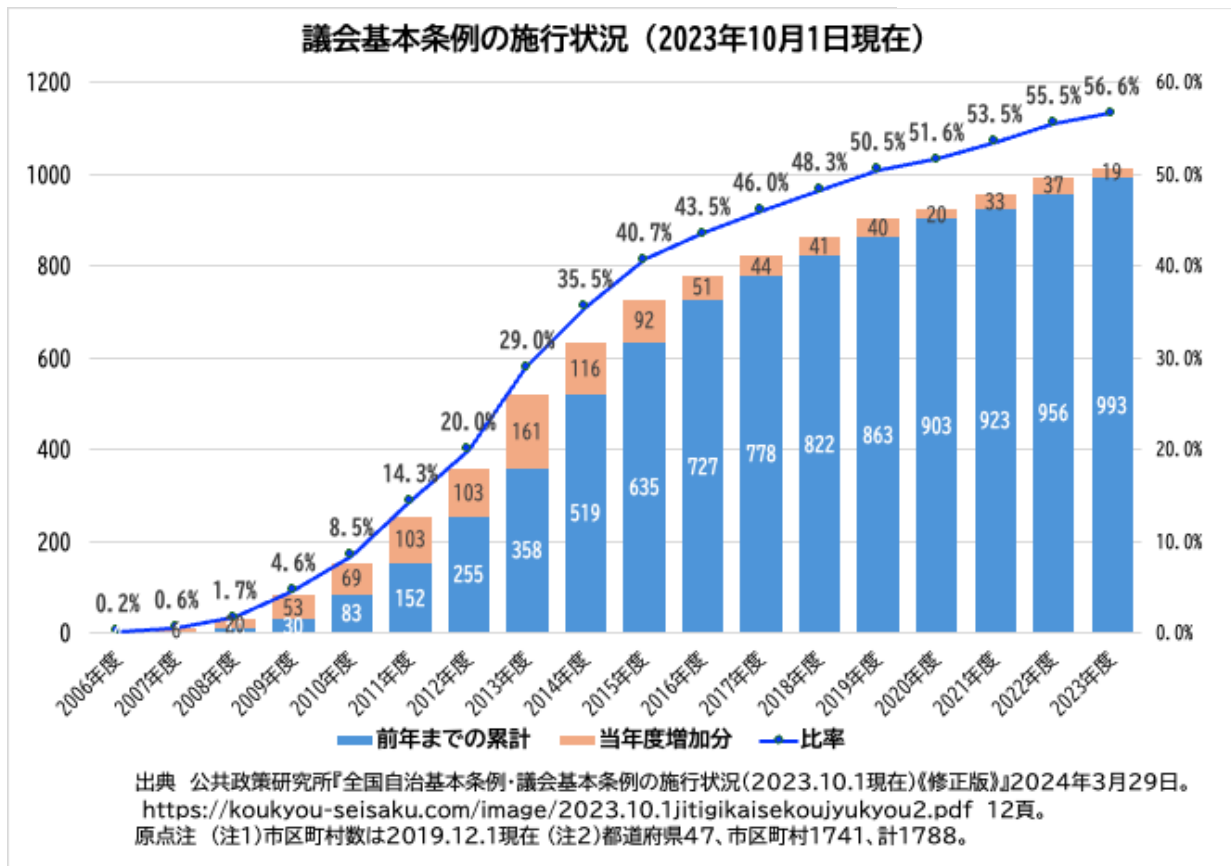
### 議会基本条例の動向

- 全国の56.6%、10万人以上20万人未満の自治体の69.6%：ほぼ7割が策定済み
  - ▶ 「なぜつくるか」ではなく、「なぜつくらないか」が問われる段階に
  - ▶ では、なぜ、つくられてきたのか

全国市議会議長会  
『市議会の活動に関する実態調査結果：  
令和5年中』2024年7月。[https://www.si-gichokai.jp/research/jittai/1206973\\_1953.html](https://www.si-gichokai.jp/research/jittai/1206973_1953.html)

(令和5年12月31日現在)(単位:市の数)

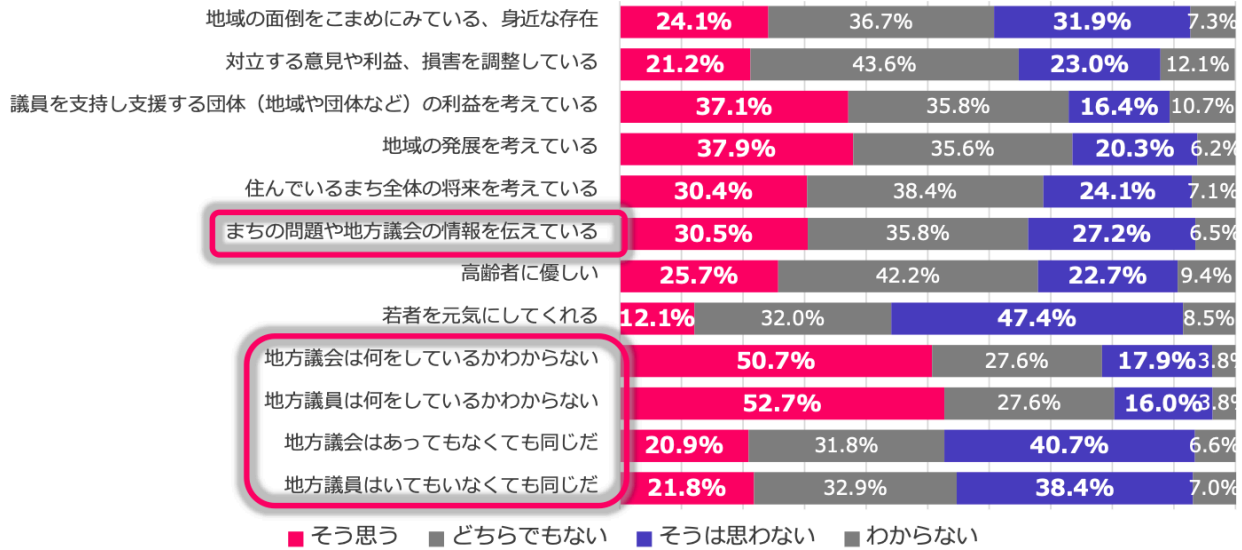
人口段階別	制定している
5万人未満	228 (76.0%)
300	
5~10万人未満	169 (71.9%)
235	
10~20万人未満	103 (69.6%)
148	
20~30万人未満	29 (60.4%)
48	
30~40万人未満	18 (60.0%)
30	
40~50万人未満	11 (57.9%)
19	
50万人以上	7 (46.7%)
15	
指定都市	17 (85.0%)
20	
全市	582 (71.4%)
815	



### 議会基本条例の背景にあるもの

- 議会のありかたにたいする疑問、問題意識
  - ▶ 議会・議員への市民からの厳しい目線あるいは無関心化
  - ▶ 自治体と地域をめぐる構造と課題の変動
    - 「議員と後援者」で包摂できる市民の減少、乖離

### 地方議会や議員について持つ印象 (N=1,332)

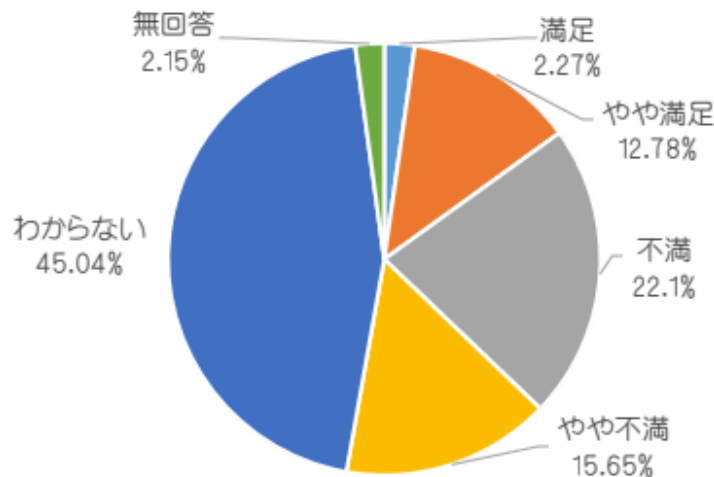


ローカル・マニフェスト推進連盟・早稲田大学マニフェスト研究所共同調査『地方議員選挙マニフェスト活用実態調査2023』  
<https://www.dropbox.com/sh/qyt6ynaj535dls9/AAC6i-0Mm4SQPuSeRThwLiYLa?dl=0>  
 2023年02月10日～14日のインターネット調査。2023年3月9日公表。

### 飯塚市議会の活動の満足度「わからない」

質問5：飯塚市議会の活動（市民意見を把握し市政に反映すること、行財政が適正に運営されているか監視すること、政策を立案すること）に満足されていますか。

「わからない」の割合が 45.04%と最も高く、次いで「不満」の割合が 22.10%、「やや不満」の割合が 15.65%となっています。



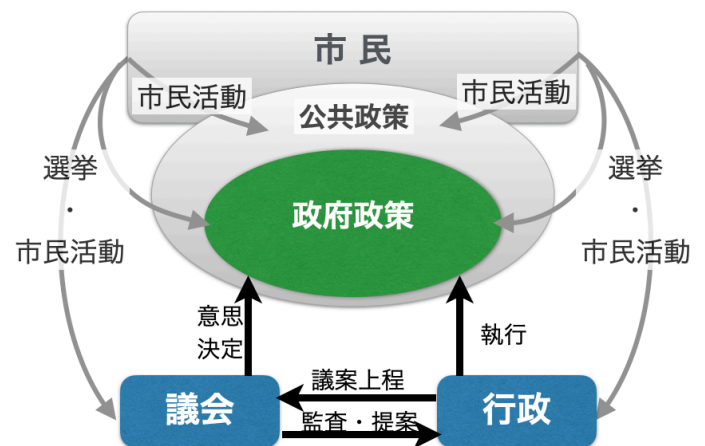
満足	やや満足	不満	やや不満	わからない	無回答	合計
19	107	185	131	377	18	837
2.27%	12.78%	22.10%	15.65%	45.04%	2.15%	100.00%

飯塚市議会『飯塚市議会の議員定数に関するアンケート調査結果報告書』2024年4月。なお、発送した3000通のうち有効回答率は27.9%。

- 「議会とはどんな存在か」「議員とはなにものか」を宣明する必要
  - ▶ 議会や議員のありかたについて、枠組だけでなく、めざす姿、そのための改革の取り組みなどが織り込まれた、「基本+改革取り組み条例」
- 議会のありかた、議員のありかたを問う状況：投票率の低下、偏差、なり手不足
  - ▶ 地方自治法の微改正（2024年）

## こんにちの自治体にとって、議会と議員はどのような存在として求められるか

- 政策議会としての議会、議員
  - ▶ 自治体は、「市民が必要不可欠とする〈政策・制度〉を整備するための機構」
    - 自治体の〈政策・制度〉とは
  - ▶ 〈政策・制度〉を「よりよく整備する」が自治体の目標。議会・長はそのために種類の異なる権限を与えられた機構。
    - 信託は理念や空想ではなく、〈政策・制度〉がその成果物
    - 議会の成果
      - 議会という場でなされる〈政策・制度〉の「制御」
  - ▶ 議会が「信頼を得る」「信託／負託に応える」ということ
    - 「わがまちの〈政策・制度〉を、ヒロバでの議論と決断によって「よい」状態にすること」
    - 「わがまちの〈政策・制度〉は、議会がいるから（行政だけより）よい状態である」という市民からの評価をえること
    - 「成果＝実績」と「認知」を高めていくしかない
  - ▶ 自治体〈政策・制度〉が「よい状態」であるように信託された権限を使って「制御」する、政策主体としての議会→「政策議会」
- 自治体をめぐる状況の困難さ
  - ▶ 地域がかかえる困難にたいして、自治体が遠ざかりつつある
    - 人口が減少すれば議員はいらない、は真ではない



### 議会の5課題（松下圭一（1991）12章）

- (1) 政治争点の集約・公開
- (2) 政治情報の整理・公開
- (3) 政治家の選別・訓練
- (4) 長・行政機構の監視
- (5) 政策の提起・決定・評価

飯塚市の支所配置職員、各地域居住議員の数と割合の推移

旧飯塚市	2006(H18)	2007(H19)	2015(H27)	2019(R1)	2023(R5).12
居住議員数	24	19	16	16	16
比(2006=100)	100	79	67	67	67
配置職員数※1	642	662	579	632	658
比(2006=100)	100	103	90	98	102

※旧飯塚市については(全一般職員数-各支所の職員数)で算出しているため、支所職員数ではない。



旧頼田町	2006(H18)	2007(H19)	2015(H27)	2019(R1)	2023(R5).12
居住議員数	14	2	2	2	0
比(2006=100)	100	14	14	14	0
支所職員数	45	29	16	12	11
比(2006=100)	100	64	36	27	24

※各支所の職員数は支所機能を有する部署のみ的人数。

旧庄内町	2006(H18)	2007(H19)	2015(H27)	2019(R1)	2023(R5).12
居住議員数	15	3	3	2	1
比(2006=100)	100	20	20	13	7
支所職員数	48	33	21	15	13
比(2006=100)	100	69	44	31	27

※各支所の職員数は支所機能を有する部署のみ的人数。

旧穂波町	2006(H18)	2007(H19)	2015(H27)	2019(R1)	2023(R5).12
居住議員数	19	7	5	7	7
比(2006=100)	100	37	26	37	37
支所職員数	80	48	26	21	19
比(2006=100)	100	60	33	26	24

※各支所の職員数は支所機能を有する部署のみ的人数。

旧筑穂町	2006(H18)	2007(H19)	2015(H27)	2019(R1)	2023(R5).12
居住議員数	15	3	2	1	3
比(2006=100)	100	20	13	7	20
支所職員数	48	30	17	13	14
比(2006=100)	100	63	35	27	29

※各支所の職員数は支所機能を有する部署のみ的人数。

土山希美枝「飯塚市議会の議員定数に関することについて」(意見書)2024年6月、6頁。

議会基本条例を策定するとデメリットはあるか？

- ない。
  - ▶ 議会として、議会の一員として、みずからのありようやその実現のための努力を書くことで、マイナスになることはない。そのこと自体ができない、あるいは回避するのであれば。
    - 想定される問題、あるいはデメリットとは、何か？
  - ▶ 議会基本条例を策定して議会改革に取り組もうという条例先行型、議会改革に取り組んで議会基本条例を必要とする経験先行型がある。ただ、後者はそのまま改革も条例設置も進まないことがあるため、議会改革計画が必要とされる。
  - ▶ なお、制定するという事実と実効性を持たせる、効果を発揮することは別。